

日本史 A

(解答番号 ~)

第1問 次の文章A・Bは、高等学校の歴史部での顧問の先生と生徒との会話である。この文章を読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 20)

A

先生：今日は、身のまわりのものから歴史を考えてみよう。どうかな。

生徒：紙幣はどうですか。紙幣の表には肖像が描かれていますよね。以前は政治家が描かれることが多かったけど、最近は学者や文化人が多いですね。

先生：はロックフェラー研究所の所員として活躍したんだ。その後、アフリカで黄熱病の研究中に病死するけれど。

生徒：五千円札の肖像だった新渡戸稲造は、何をした人ですか。

先生：『武士道』を英文で発表して日本文化を欧米などに紹介したり、^㉔太平洋地域の友好促進を目的とした民間組織である太平洋問題調査会日本支部の理事長をつとめたりしたんだ。

生徒：は、『たけくらべ』や『にぎりえ』などを書いた明治時代の作家として知られています。

先生：そうだね。わずか25歳で亡くなるんだ。他の作品を含めて、ほとんどが亡くなる直前のわずか一年あまりで立て続けに発表されたんだ。このため「奇跡の十四ヶ月」ともいわれている。

生徒：作家といえば、千円札の肖像だった夏目漱石もそうでしたよね。

先生：漱石は作家として有名だけれど、1903年に東京帝国大学の英文学講師になっているね。漱石が学生だった頃は帝国大学といったけれど、1897年に京都帝国大学が設立されたことで、東京帝国大学に改称されたんだ。

生徒：明治時代には大学改革だけでなく、さまざまな点で^㉕教育改革が行われましたよね。

先生：紙幣の肖像からも、こんなふうに歴史への興味が広がっていくね。

問 1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 野口英世 イ 二葉亭四迷
- ② ア 野口英世 イ 樋口一葉
- ③ ア 北里柴三郎 イ 二葉亭四迷
- ④ ア 北里柴三郎 イ 樋口一葉

問 2 下線部③に関連して、太平洋地域と日本との結びつきに関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X ワシントン会議において、太平洋諸島に対して各国がもつ権利の尊重を約束した九か国条約が結ばれた。

Y 明治時代、ハワイは日本の主要な海外移民先の一つであった。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問 3 下線部⑤に関連して、明治時代の教育に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 文部大臣森有礼のもとで学制が制定された。
- ② 教育勅語への最敬礼を拒否したとして新島襄が職を追われた。
- ③ 小学校で国定教科書制度が実施された。
- ④ 義務教育の就学率は日清戦争前に 95 % を上回っていた。

日本史A

B

- 生徒：私たちの持っている紙幣には「日本銀行券」と書かれています。これは日本銀行が発行しているからですか。
- 先生：そうなんだ。日本銀行といえば、松方正義が **ウ** のときに設立したことで知られているね。
- 生徒：松方正義といえば、松方財政で有名ですね。
- 先生：日本銀行設立前は、国立銀行が正貨と交換できない不換紙幣を各地で発行した上に、**㉔** 士族反乱 に際して軍事費を調達するため、政府も大量に不換紙幣を発行したんだ。
- 生徒：当時の政府は財政が苦しくなると、政府紙幣を発行して補おうとしたのですね。でも大量に紙幣を発行すると、急激なインフレを招きませんか。
- 先生：だから、松方は紙幣量を減らそうとしたんだ。まず増税して財政収入を増やしながら、財政支出を減らして徐々に紙幣を回収したわけだね。
- 生徒：そうすると、物価が下がりますね。それで松方デフレというのですか。
- 先生：そのとおり。その上で1882年に中央銀行として日本銀行を設立し、1885年に **エ** と兌換^{だかん}できる日本銀行券を発行しはじめたんだ。
- 生徒：日本銀行が唯一の銀行券発行機関になっていったのですね。また、日本銀行券が **エ** と兌換できるということは、むやみに紙幣を発行できないということになりますね。
- 先生：そうそう。その結果、紙幣の信用が維持されるようになり、経済環境が整って企業勃興の基礎になったんだ。
- 生徒：松方財政の成果ですよ。でもその一方で、農村は困窮したということも学びました。経済は私たちの生活に直結します。いつの時代でも **㉕** 政府 や日本銀行の行う 経済政策 に注意を向ける必要がありますね。

問 4 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **4**

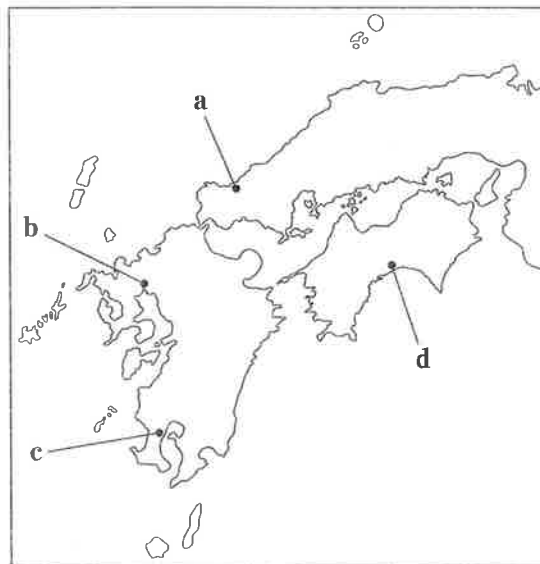
- ① ウ 首相 エ 金貨
- ② ウ 首相 エ 銀貨
- ③ ウ 大蔵卿 エ 金貨
- ④ ウ 大蔵卿 エ 銀貨

問 5 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する下の地図上の位置a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

5

X 江藤新平が中心となり、この地の県庁を襲った。

Y 西郷隆盛を首領とし、この地の士族が中心となって蜂起した。



- ① X — a Y — c
- ② X — a Y — d
- ③ X — b Y — c
- ④ X — b Y — d

日本史 A

問 6 下線部㉑に関連して、次の史料に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 6

史料

(この法令は、)購買力の主なる源泉である預貯金の払出しを制限し、潜在購買力の浮動化を抜本的に封鎖せんとする非常措置である。(中略)要点は下のごとくである。

一、現存の預貯金その他を本十七日限り封鎖され、その後は毎月世帯主三百円、世帯員一人百円を限って引出し得る。

(『朝日新聞』)

- a 史料で説明されている措置は、幣原喜重郎内閣が実施した。
- b 史料で説明されている措置は、片山哲内閣が実施した。
- c 史料で説明されている措置は、預貯金の引出しを制限することでインフレーションを引き起こそうとしたものである。
- d 史料で説明されている措置は、預貯金の引出しを制限することで貨幣流通量を減少させようとしたものである。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

(下書き用紙)

日本史Aの試験問題は次に続く。



日本史A

第2問 幕末から明治維新にかけての軍制改革と西洋医学に関する次の文章を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。(配点 12)

幕末期、幕府は西洋諸国に対抗するため軍制改革を行った。1862年の文久の改革においては、や京都守護職を新たにおくなど、幕府職制を変更するとともに、西洋式軍制を採用した。一方、[Ⓐ]攘夷論も強まるなかで、戦争時における傷病兵の外科治療という課題も浮上し、幕府の西洋医学の教育機関である医学所は外科研究に力を入れた。またこのころ幕府は庶民からも兵を集めていたこともあって、庶民に患っている者が多かった性感染症の研究も行っていった。

明治維新期、戊辰戦争の傷病兵治療で[Ⓑ]西洋医学の必要性がますます明らかとなり、明治政府は学術試験を課すなどして軍医の質の向上をはかった。1871年のでは、諸藩の軍隊を解体した。その後、[Ⓒ]徴兵令を發布したが、これに先立ち、軍医は成人男子の身長を調査し、徴兵に適した体格の標準値を策定していた。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | | |
|---|---|-------|---|------|
| ① | ア | 政事総裁職 | イ | 版籍奉還 |
| ② | ア | 政事総裁職 | イ | 廃藩置県 |
| ③ | ア | 議定 | イ | 版籍奉還 |
| ④ | ア | 議定 | イ | 廃藩置県 |

問 2 下線部④に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 老中阿部正弘は、幕府の独断で日米和親条約を締結した。
- ② 孝明天皇の妹和宮が徳川慶喜に嫁いだことは、攘夷派を刺激した。
- ③ 大老井伊直弼は、坂下門外で水戸浪士らに暗殺された。
- ④ 幕府が攘夷実行を約束したことをうけ、長州藩は外国船を砲撃した。

問 3 下線部⑤に関連して、19世紀の西洋医学に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

- Ⅰ 志賀潔が赤痢菌を発見した。
- Ⅱ 蘭学や蘭方医を志す者のために、緒方洪庵が大坂で適塾を開いた。
- Ⅲ 西洋医学教育の分野でも、お雇い外国人の招聘しょうへいが始まった。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 4 下線部③に関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 10

- X 徴兵告諭にもとづき発布された徴兵令は、国民皆兵を原則とした。
- Y 徴兵制度は民衆にとって負担となり、血税一揆などの抵抗を生んだ。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

日本史A

第3問 近世後期から近代における言論活動や表現活動に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 19)

A 政治批判をフィクションの形で語る言論活動が、政治問題になることがしばしばあった。たとえば江戸時代に起こった **ア** では、架空の人物による夢の中での問答という形式で幕府の対外政策を批判した高野長英が、処罰を受けた。また、明治期になると政治小説に名を借りて、政治批判が行われた。

最初の政党内閣が成立すると、共和演説事件が起こった。日本が共和政治になったら三井・三菱が大統領候補となるであろうという演説の内容が、不敬であると指弾され、発言者の **㉔** 尾崎行雄 は文部大臣を辞した。

条約改正交渉が本格化すると、条約改正の結果生じる内地雑居問題が話題となった。外国人の国内での居住、土地所有や自由な商業活動が認められると、外国人や外国資本が日本に押し寄せて混乱すると危惧されたからである。『日本之下層社会』を著し、労働問題の研究者として著名な **イ** も『内地雑居後之日本』を書き、内地雑居に警鐘を鳴らした。これらの本が刊行された **㉕** 1900年前後の時期 は、社会問題に国民の関心が高まっていた時代であった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

- ① ア 蛮社の獄 イ 片山潜
- ② ア 蛮社の獄 イ 横山源之助
- ③ ア 安政の大獄 イ 片山潜
- ④ ア 安政の大獄 イ 横山源之助

問 2 下線部②に関連して、尾崎行雄の行動に関して述べた次の文 I ~ III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①~⑥のうちから一つ選べ。 12

- I 男子普通選挙を実現する運動の先頭に立ち、革新倶楽部に参加した。
- II 翼賛選挙に際しては、非推薦候補として立候補した。
- III 大隈重信を党首とする立憲改進黨に参加した。

- ① I — II — III
- ② I — III — II
- ③ II — I — III
- ④ II — III — I
- ⑤ III — I — II
- ⑥ III — II — I

問 3 下線部⑥に関連して、1900年前後の日本の社会状況について述べた文として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 13

- ① ノルマントン号事件が起こり、条約改正に反対する世論が高まった。
- ② 北京議定書調印に反対して、大規模な民衆騒擾そうじょうが起こった。
- ③ 治安警察法が制定され、労働運動などへの取り締まりが強化された。
- ④ 農村では小作争議が頻発し、日本農民組合が結成された。

日本史A

B SF 小説や映画などにも、時代や社会の変化の影響があらわれている。フランスの小説家ジュール＝ヴェルヌが、新聞に連載した『八十日間世界一周』には◎日本の開港場が登場する。スエズ運河、アメリカ大陸横断鉄道の開通に加えて、香港から日本を経て太平洋を渡る定期航路が開設されて、世界一周が可能になったことも背景にあった。

20世紀に入ると日米両国で、㉑日米関係の未来に関する議論が高まり、将来両国が戦うことになるという「未来戦記」が登場した。アメリカ人ホーマー＝リー『無智の勇気』や水野広徳『次の一戦』では、当時アメリカの植民地であったフィリピンへの日本軍の攻撃作戦が予言されていた。

アジア太平洋戦争(太平洋戦争)で原爆が投下されると、戦後は核戦争の脅威が語られるようになった。㉒1950年代には、第五福竜丸の被曝(爆)事件に影響を受けて映画『ゴジラ』が制作され、水爆実験で目覚めた怪獣が東京を焦土にする恐怖が描かれた。

問4 下線部◎に関連して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

14

X 日米修好通商条約で開港が定められた。

Y 日本最初の日刊新聞が発刊された。

a 新潟

b 下田

c 『横浜毎日新聞』

d 『万朝報』

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

- 問 5 下線部㉑に関連して、次の史料は、日本が行った外交政策を『ニューヨーク・タイムズ』が報じた記事である。この史料に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 15

史料

北京側が発表したリストは非常に恐るべきものだ。日本は中国に対し、山東において日本がドイツから奪った膠州の租借地を含む「すべての権利」の移行を承認するように求め、(中略)中国政府が「行政、財政、軍事の運営の顧問として有力な日本臣民を雇用」するよう要求した。(中略)世界がヨーロッパの戦争に強く気を取られているのに乗じ、中国と西洋諸国の権利を無視して、永遠に中国という偉大な国の運命の支配者であり続けられるように中国に対する管理を確固たるものにしようとする日本の意図を示しているというものだ。

(『国際ニュース事典 外国新聞に見る日本』4)

- a この新聞記事は、三国干渉について述べたものである。
- b この新聞記事は、二十一か条要求について述べたものである。
- c この新聞記事は、日本の政策を歓迎している。
- d この新聞記事は、日本の政策を警戒している。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

- 問 6 下線部㉒に関連して、1950年代の日本の社会状況について述べた文として正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 16

- ① 『鉄腕アトム』などのテレビアニメが制作された。
- ② 「もはや戦後ではない」と記された『経済白書』が出された。
- ③ 森鷗外らがロマン主義の文学作品を発表した。
- ④ 大阪で日本万国博覧会が開催された。

日本史 A

第4問 戦前からジャーナリストとして活動し、戦後は首相にもなった石橋湛山に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 24)

A 石橋湛山が『東洋経済新報』で言論活動を始めたのは、デモクラシーが世界的に広がるなかで、日本でも民主主義的・自由主義的な学問・思想が展開した時期であった。のちに大正デモクラシーとよばれるこの風潮のなかで、**ア**は、政治の目的を民衆の利益と幸福を実現することと位置づけ、民衆の意向を無視してはならないとする民本主義を唱えた。

この時期には、新聞や、総合雑誌の『**イ**』『改造』などを舞台にデモクラシーを促進する言論が展開され、知識人を中心に結成された黎明会や、東京帝国大学学生らによる新人会などの団体も生まれた。

石橋湛山はこうした潮流に対応し、国内政治については国民権論を唱えて議会政治の進展を説くとともに、**a** 女性の社会的地位に関しても積極的に発言した。国際政治に対しては小日本主義を唱えて日本の膨張政策を批判した。その主張の背景には、**b** 民族運動の高まりへの理解とともに、国際的な貿易拡大の動向を踏まえた経済的合理主義があった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **17**

- ① ア 吉野作造 イ 中央公論
- ② ア 吉野作造 イ 明六雑誌
- ③ ア 河上肇 イ 中央公論
- ④ ア 河上肇 イ 明六雑誌

問 2 下線部②について述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 18

X 平塚らいてうや市川房枝が、女性の地位の向上や、権利の擁護などを目的として 1920 年に結成した。

Y 女性や子どもの就業時間制限や深夜業禁止などを規定したが、法の適用範囲が狭いなど、不十分な内容であった。

a 赤瀬会

b 新婦人協会

c 工場法

d 商法

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

問 3 下線部①に関連して、第一次世界大戦後の民族運動の展開に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

① 日本からの独立を求める運動が、朝鮮全土で展開された。

② 韓国の民族運動家によって、伊藤博文が殺害された。

③ 毛沢東の指導のもとに、中国統一をめざす北伐が開始された。

④ 西安事件をきっかけに、第 1 次国共合作が実現した。

日本史 A

B 関東大震災以降、大正デモクラシーの潮流は徐々に後退していった。1924年に東洋経済新報社の主幹となった石橋湛山は、政党内閣に対し軍備縮小を要求し続けるとともに、金解禁論争などで注目を集めた。

満州事変以降、政府が㉔ 思想や言論の統制を強化するなかで、共産主義者らの転向があいついだ。日中戦争、アジア太平洋戦争(太平洋戦争)へと戦争が拡大するにつれ、思想統制は厳しさを増していった。日中戦争以降、多くの文化団体が解散させられて国策への協力を求められ、㉕ 戦争とのかかわりを深めていった。

石橋は、そのようななかでも、経済界の強い支持を受けながら言論活動を続け、㉖ 軍部の政治介入と戦争拡大の風潮を批判した。

問 4 下線部㉔に関連して、近現代の思想・言論への統制に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

- Ⅰ 東京帝国大学教授の河合栄治郎が、ファシズム批判を理由に休職処分となった。
- Ⅱ 日本最初の社会主義政党である社会民主党が安部磯雄らによって結成されたが、直後に解散させられた。
- Ⅲ 第1回男子普通選挙で無産政党から当選者が出ると、共産党員が大量検挙され、労働農民党などが解散させられた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 5 下線部㉑に関連して、戦中・戦後の文化に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 戦争に協力する文学者団体として、日本文学報国会が設立された。
- ② 石川達三が、中国戦線における日本軍を題材にした小説を執筆した。
- ③ 本土空襲に備えて、文化財保護法が制定された。
- ④ 敗戦後、黒澤(黒沢)明の映画が国際的に高い評価を得た。

問 6 下線部㉒に関連して、軍部に対する政党の影響力を防ぐ目的で定められた軍部大臣現役武官制に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 22

X 大正政変をうけて成立した内閣において、軍部大臣現役武官制の現役規定が削除された。

Y 五・一五事件直後に成立した内閣において、軍部大臣現役武官制が復活した。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

日本史 A

C 戦後、政界に進出した石橋湛山は、第1次①吉田茂内閣の大蔵大臣として経済復興政策を進めた。その後、公職追放にあったが、公職追放解除後は、憲法改正・再軍備・自主外交などをかかげて成立した鳩山一郎内閣の通商産業大臣に就任した。1956年、自由民主党総裁に選ばれた石橋は、鳩山内閣のあとをうけて組閣したが、病気のため2か月で辞職した。

石橋は、政界の第一線を退いたあとも、政治・外交について積極的に発言し続けた。②日米安全保障条約改定以降は、日米中ソの平和同盟締結を唱えるなど、東アジアの国際秩序の安定をめざす活動に力を入れている。石橋は、国際連合を中心にすえた国際平和の構築を模索したのである。

問 7 下線部①の人物について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 保守合同によって結成された自由民主党の初代総裁となった。
- ② 日本社会党を中心とする連立政権の首相となった。
- ③ 全面講和論をしりぞけ、サンフランシスコ平和条約を締結した。
- ④ 連合国軍の進駐を受け入れ、降伏文書に調印した。

問 8 下線部㉔に関連して、次の史料に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 24

史料

今や日ソ間の貿易協定は着々成果をあげつつあるが、中国との国交の打開をも速やかに実現すべきである。(中略)全人類の四分の一にも達する隣の大国が、今ちょうど日本の明治維新のような勢いで建設の途上にある。それをやがて破綻するだろうと期待したり、また向こうから頭を下げてくるまで待とうとするような態度が、はたして健康な外交であろうか。戦後十五年を経て、すでに戦後の時代は去ったようにいう人もあるが、今次大戦の中心は中国にあったのであり、その日中戦争を終息せしむることこそ戦争終結のための最大の課題ではないか。しかも相手は暴虐の限りをつくした日本に対して、^{あだ} 仇を恩で返すことを国是とし、一切の報復主義を排して逆に手を差し伸ばして来ている。

(石橋湛山「池田外交路線へ望む」1960年)

- a この文章で石橋は、日本政府の外交姿勢に疑問を呈している。
- b この文章で石橋は、日本政府の外交姿勢を高く評価している。
- c この文章が書かれた当時、日本はすでに中華民国と平和条約を結んでいた。
- d この文章が書かれた当時、日本はすでに中華人民共和国と平和条約を結んでいた。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

日本史A

第5問 近現代日本の流通業に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 25)

A 江戸時代以来、日用品の購入先は小規模な商店や行商人が一般的であった。これらの商業者は通常、米屋、酒屋というように商品ごとに特化しており、そこに商品が届くまでに、各種の卸売業者が介在していた。このような流通の仕組みは近代になっても④農村部ではあまり変化しなかったが、都市部ではいくつかの形態の大規模な店舗が出現した。

たとえば三越はもともと高級呉服店であったが、多品目を扱う百貨店へと転換し、第一次世界大戦後には日用品の安売りも行うようになっていった。⑥阪急をはじめとする電鉄会社もさかんに百貨店を兼営し、顧客層の大衆化をもたらした。一般の商業者たちは、百貨店に経営を圧迫されるとして反対運動を繰り広げ、1937年には百貨店を規制する百貨店法が制定された。

1920年代には、同一の敷地にさまざまな商人が店を並べる公設市場も成長した。これは、第一次世界大戦期の物価高騰をうけ、日用品の安価で安定的な供給をめざして開設されたもので、③1918年の米騒動を契機に各地に広がった。

問1 下線部④に関連して、農業や農村に対する近現代の政策に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 25

- Ⅰ 農山漁村経済更生運動によって、農村の経済状態の改善がはかられた。
- Ⅱ 農業基本法の制定によって、農業の構造改善がめざされた。
- Ⅲ 農地改革の実施によって、寄生地主制が解体された。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問 2 下線部㉑に関連して、近現代の交通機関や運送業に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 海運業で成功した岩崎弥太郎は、三菱財閥の基礎をつくった。
- ② 日露戦争直前に、国内の主要な民営鉄道は国有化された。
- ③ 第一次世界大戦期の船舶不足により、日本の海運業は不振におちいった。
- ④ 日中戦争開始後、日本では軍事上の必要から高速道路の整備が進められた。

問 3 下線部㉒について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① シベリア出兵を見込んだ米の買い占めや売り惜しみが背景にあった。
- ② 富山県の主婦たちの行動がきっかけで全国に広がった。
- ③ 政府は、鎮圧のために軍隊を出動させた。
- ④ 責任を追及された原敬内閣は、総辞職した。

日本史 A

B 日中戦争期には物価上昇を抑えるため **ア** が出されたが、日用品の調達は困難になっていった。1940年代には、卸・小売を統合して物資配給を担わせる抜本的な再編も進められ、商業者を軍需産業へ動員することも行われた。

敗戦後は **①** 新憲法の公布 と並行して、経済の分野でも民主化が進められた。たとえば、労働者の権利保護のために労働時間などの労働条件を定めた **イ** や、企業の自由な競争を保障しようとする独占禁止法などが制定された。こうしたなかで百貨店法は廃止された。しかし、百貨店の経営回復にともない一般の商業者との対立が再び強まり、1956年に第2次百貨店法が改めて制定された。

1950年代にはまた、百貨店とは異なる大型店としてスーパーマーケット(スーパー)が登場した。なかでも中内^{いさお} 切が开店したダイエーは急成長していくことになる。

問 4 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

- ① ア 価格等統制令 イ 労働基準法
- ② ア 価格等統制令 イ 労働組合法
- ③ ア 国民徴用令 イ 労働基準法
- ④ ア 国民徴用令 イ 労働組合法

問 5 下線部①に関連して、憲法に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

- a 大日本帝国憲法は、民権派による私擬憲法を草案としてつくられた。
- b 大日本帝国憲法では、天皇が元首として統治権を総攬^{そうらん}するとしている。
- c 日本国憲法は、日本政府による試案を GHQ がそのまま認めて成立した。
- d 日本国憲法では、国会が国権の最高機関であると定められている。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

C 医薬品の安売りから始まったダイエーは、食品、衣料品、電気製品までも総合的に取り扱うようになり、次々と店舗を増やした。その成長はめざましく、1972年には百貨店の三越を抜き小売業売上高日本一へ登りつめた。㉔大量に仕入れた商品をセルフサービスで安く販売する戦略は当時、「流通革命」の一翼として注目を集め、各地に類似のスーパーがつくられた。

スーパーの成長をうけて、政府は第2次百貨店法を廃止し、1974年からスーパーも含めた大型店の規制を施行した。このときダイエー社長の中内は、大型店は消費者の利益にかなうと主張して、当時通商産業大臣であった㉕中曽根康弘らとの折衝にあたった。

ダイエーは㉖プロ野球球団の運営にも手を伸ばしたが、1990年代以降は経営が悪化し、流通業のリーダーの地位を追われた。しかしその存在が買い物の場にもたらした変化は、その後の流通業の基礎となっている。

日本史 A

- 問 6 下線部㉔に関連して、世帯の消費支出額に占める購入先別の構成比を示した次の表に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

世帯消費支出額に占める購入先別の構成比

(単位：%)

	1964年	1969年	1974年	1979年	1984年
一般小売店からの購入	73.0	69.9	63.2	57.4	53.1
スーパーからの購入	7.7	12.1	19.2	24.0	27.1
百貨店からの購入	9.0	8.5	9.3	10.1	9.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(『全国消費実態調査報告』により作成)

(注) 全国の2人以上の普通世帯が、1か月に商品購入に支出した額に占める構成比である。

(注) 一般小売店とは、スーパー、百貨店、生協、購買部、行商などを除く小売店を指す。

(注) 合計にはその他の購入先を含む。

X 「スーパーからの購入」の構成比が「百貨店からの購入」の構成比をはじめて上回った調査年は、1969年である。

Y 一般小売店と百貨店とを比べると、「スーパーからの購入」の構成比が上がるにつれて、構成比を大きく下げたのは、百貨店である。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 7 下線部㉑に関連して、中曽根康弘が内閣総理大臣であった時期の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 破壊活動防止法が制定され、過激な政治活動の取締りが強化された。
- ② 経済協力開発機構(OECD)に加盟し、資本の自由化が進められた。
- ③ 沖縄返還協定が結ばれ、沖縄の日本復帰が実現した。
- ④ 日本電信電話公社(電電公社)を民営化し、NTTに改めた。

問 8 下線部㉒に関連して、近現代のスポーツや運動に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 明治時代に、学校の行事として運動会が開かれるようになった。
- ② 日中戦争期に、戦意高揚の目的で全国中等学校野球大会(全国中等学校優勝野球大会)が始まった。
- ③ 敗戦後に、日本は、はじめてオリンピックに参加した。
- ④ GHQによる占領が終わったのち、プロ野球が再開された。